

重要取組シート

建築都市局 住宅部

取組項目		住みたい・訪れたい・働きたい魅力のある都市 ① (住宅施策の推進)
現状・課題		○本市の住宅政策に関する基本的な方針である「さかい 魅力・安心 住まいプラン（堺市住生活基本計画）」に基づき、「安全・安心の住まい・市街地形成」、「住宅セーフティネットの整備」「良質なストックの形成・活用」等の取組を実施する必要がある。 ○住宅セーフティネットの中核となる市営住宅について、「堺市営住宅長寿命化計画」に基づき、建替事業や改善事業を進め、安全・安心な住まいを供給し、効率的で適切な管理運営を進める必要がある。 ○「マンション管理適正化推進計画」に基づき、専門分野の関係団体とも連携を図りながら、マンション管理の適正化や建替えに向けた支援を行う必要がある。
取組の内容		○老朽化した市営住宅の安全性の確保、居住性の向上、住環境の向上等を図ることを目的に、市営住宅の建替事業等を進め、良好な居住環境の形成を図る。 ○大仙西校区まちづくりランドデザインに基づく建替事業等を進め、住宅の集約化によって段階的に創出される余剰地を民間活用することにより、地域の活性化をめざす。 ○災害時緊急対応、高齢者世帯の見守りや入居者コミュニティの向上等、住民組織や指定管理者等と連携し、安全・安心な市営住宅の管理運営に努める。 ○専門分野の関係団体とも連携を図りながら、専門家相談やマンション管理セミナー、管理計画認定の促進や建替え支援制度の活用に加え、モデル的に分譲マンション専門家派遣事業を行うなど、マンション管理の適正化や建替えに向けた支援を行う。
スケジュール	前期 (～9月)	☐ 万崎住宅建替事業の第2期解体工事（～1月） ☐ 大浜高層住宅集会所解体工事（8月～2月） ☐ 大仙西町団地H・I棟建替住宅建設工事設計（第3-2期）（～1月） ☐ 塩穴団地2棟、協和町西団地17・18号館解体工事（第3-1期）（～3月） ☐ 協和町西団地D棟建替住宅建設工事設計（第4期）（～3月） ☐ 市営住宅第4期指定管理者の公募（～8月） ☐ 住宅専門家相談（マンション管理）の定期開催（通年） ☐ マンション管理計画認定制度や建替え支援制度、分譲マンション専門家派遣事業の実施（通年）
	後期 (～3月)	☐ 万崎住宅建替事業の第2期解体工事（～1月） ☐ 大浜高層住宅集会所解体工事（8月～2月） ☐ 大仙西町団地H・I棟建替住宅建設工事設計（第3-2期）（～1月） ☐ 塩穴団地2棟、協和町西団地17・18号館解体工事（第3-1期）（～3月） ☐ 協和町西団地D棟建替住宅建設工事設計（第4期）（～3月） ☐ 市営住宅第4期指定管理者の選定・議会承認・協定締結（～3月） ☐ 住宅専門家相談（マンション管理）の定期開催（通年） ☐ マンション管理計画認定制度や建替え支援制度、分譲マンション専門家派遣事業の実施（通年） ☐ マンション管理セミナーの開催（10月）

(様式 4)

	次年度以降	☐ 万崎住宅建替事業の第 2 期建設工事 ☐ 第 3-1 期・第 3-2 期・第 4 期建替事業の推進 ☐ 指定管理者による安全・安心な居住生活の確保、効率的な市営住宅の管理運営 ☐ 住宅専門家相談（マンション管理）の定期開催 ☐ マンション管理計画認定制度や建替え支援制度、分譲マンション専門家派遣事業の実施 ☐ マンション管理セミナーの開催		
進捗の状況	前期（～9 月）			
	後期（～3 月）			
2025 堺市基本計画	該当する施策	5－（1）自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度） —
未来都市計画 堺市 SDGs	最も貢献する SDGs のゴール	ゴール番号 —	—	
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度） —

重要取組シート

建築都市局 都市整備部

取組項目		住みたい・訪れたい・働きたい魅力のある都市 ② (津久野駅周辺の都市機能更新)	
現状・課題		○都市の魅力を高めるため、都市計画マスタープランで位置付けている駅前拠点である津久野駅周辺の役割に応じた都市機能の集約を図り、魅力ある拠点整備を進める必要がある。 ○津久野駅周辺は、老朽化した市街地住宅の更新や駅東西往来環境の改善、駅西側からのアクセス性の向上等、津久野駅周辺の課題の解決に向け、地元主体で様々な活動が行われている。これらの動きなどを踏まえ、津久野駅前周辺地区を「特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき地区」として都市計画に位置付けており、関係者と連携して津久野駅周辺の都市機能更新の実現を図る必要がある。	
取組の内容		○津久野駅周辺における一体的な市街地再整備に向けて、地元や事業者、行政等が連携して都市機能更新を進めるための共通の方針として「津久野駅周辺再整備基本構想」の策定を進める。 ○また、津久野駅周辺の都市機能更新に向け、引き続き機運醸成や合意形成など地元主体の活動の支援を行い、併せて津久野駅東西の往来環境改善や市街地住宅の更新に向けて、JR や UR 等の関係者と協議・調整を進める。	
スケジュール	前期 (～9月)	☐ 津久野駅周辺の市街地再整備に向けた機運醸成や合意形成などの地元主体の活動の支援 (通年)	
	後期 (～3月)	☐ 津久野駅周辺再整備基本構想の策定 (秋頃) ☐ 津久野駅周辺の市街地再整備に向けた機運醸成や合意形成などの地元主体の活動の支援 (通年)	
	次年度以降	☐ 都市計画手続 ☐ 津久野駅周辺の市街地再整備に向けた地元主体の活動の支援	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
堺市基本計画 2025	該当する施策	—	
	寄与するKPI	—	目標値 (2025 年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 —	—
	寄与するKPI	—	目標値 (2025 年度) —

重要取組シート

建築都市局 都市整備部

取組項目		住みたい・訪れたい・働きたい魅力ある都市 ③ (堺都心部(環濠エリア)の魅力創出)	
現状・課題		堺都心部は、堺東駅や堺駅周辺を中心とするエリアで、多様な都市機能が集積する本市の中心的な拠点として、堺市基本計画 2025 において「人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立」を重点戦略の施策として掲げている。 このことから、堺都心部においては、2025 年開催の大阪・関西万博や 2031 年のなにわ筋線開業、2040 年の南海高野線連続立体交差化等、大きな成長が見込まれる機会を捉え、堺都心未来創造ビジョンに示す将来像の実現に向け、公民連携で取組を進めることが必要である。	
取組の内容		堺都心未来創造ビジョンに示している環濠等の各エリアの将来像等について、市民や事業者等の様々な主体と共有し、多様な人が集う魅力的なエリア形成と、安全・快適に過ごせる居心地の良いウォーカブルな人中心の空間形成等の実現に向け、交通、観光、産業等、関係部署と連携した取組を進める。 環濠等の各エリアにおいて、地域資源を活かして魅力を高める「魅力を磨く」取組や、人・地域・資源等をつなぐ「魅力を結ぶ」取組を公民連携により進める。 ○堺都心部(環濠エリア) 歴史文化資源等を活かした新たな価値の創造と、人々が集い交流する都市空間形成に向け、堺環濠町づくり推進協議会等とのエリアマネジメントに係る公民連携の取組や元堺消防署用地の活用等を進める。	
スケジュール	前期 (～9月)	☐ 元堺消防署用地活用の方向性の決定(～9月) ☐ 堺環濠町づくり推進協議会等とのエリアマネジメントに係る公民連携の取組(通年)	
	後期 (～3月)	☐ 元堺消防署用地活用にかかる事業者公募の開始(～3月) ☐ 堺環濠町づくり推進協議会等とのエリアマネジメントに係る公民連携の取組(通年)	
	次年度以降	☐ 堺都心未来創造ビジョンに示す堺都心部の将来像の実現に向けた取組の推進	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
堺市基本計画 2025	該当する施策	4- (3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
	寄与するKPI	堺東駅・堺駅の乗降客数(定期利用者を除く) [現状値: 43,835人/日(2019年度)]	目標値(2025年度) 45,000人/日

(様式 4)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	住み続けられるまちづくりを	
		11		
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度）
				—

重要取組シート

建築都市局 都市計画部

取組項目		住みたい・訪れたい・働きたい魅力のある都市 ④ (環濠エリア北部地区のまちなみ再生)	
現状・課題		○環濠エリア北部地区は、江戸時代に形成された「元和の町割」や環濠都市の面影が残る環濠エリアのなかでも、鉄炮鍛冶屋敷や山口家住宅、清学院をはじめとした町家や寺社などの歴史的建造物が多く残る地域である。 ○「堺市基本計画 2025」や「堺市都市計画マスタープラン」、「堺市都心未来創造ビジョン」において、環濠エリアの魅力創出に向け、歴史的建造物の保全・活用により歴史的なまちなみの再生に取り組むこととしており、これまで「まちなみ修景補助制度」による町家の外観修景整備や堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会による啓発活動への支援等、地域と協働して取組を進めた。 ○今後も地域に残る町家等の歴史文化資源の保全、活用等を図るためには、地域の方々と将来像を共有しながら、協働で取り組む必要がある。	
取組の内容		○国の街なみ環境整備事業を活用し、平成 27 年度から令和 6 年度の 10 年間を事業期間としてまちなみ再生に取り組んだ。 ○これまでのまちなみ再生事業について、事業実施状況の整理やアンケート調査、費用対効果分析等により効果を検証し、地区のめざすべき方向性や必要な取組についてとりまとめる。 ○取りまとめた方向性を踏まえ、修景補助制度の見直しや道路の無電柱化・美装化等の実施に向け検討するなど、引き続き当地区において歴史的なまちなみの再生を進める。	
スケジュール	前期 (～9 月)	☐ まちなみ再生事業の効果検証に向けたアンケート調査の実施 (7 月) ☐ これまでのまちなみ再生事業の効果検証 ☐ 地区のめざすべき方向性や必要となる取組のとりまとめ (通年)	
	後期 (～3 月)	☐ これまでのまちなみ再生事業の効果検証 (12 月) ☐ 地区のめざすべき方向性や必要となる取組のとりまとめ (通年) ☐ 修景補助制度の見直し (～3 月) ☐ 道路の無電柱化・美装化等の路線選定の検討 (～3 月)	
	次年度以降	☐ 新たな修景補助制度の実施 ☐ 道路の無電柱化・美装化等の実施に向けた検討	
進捗の状況	前期 (～9 月)		
	後期 (～3 月)		
2025 堺市基本計画	該当する施策	1 - (2) 環濠エリア・堺旧港の魅力の創出	
	寄与する KPI	環濠エリアへの来訪者数	目標値 (2025 年度) 300 万人

(様式 4)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	働きがいも経済成長も	
		8		
	寄与する KPI	—	目標値（2025 年度）	
			—	

重要取組シート

建築都市局 交通部

取組項目	住みたい・訪れたい・働きたい魅力のある都市 ⑤ (SMI 都心ラインの推進、阪堺線の持続的発展、都心交通のあり方)
現状・課題	○「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えに基づく公共交通ネットワークの形成、日常生活や都市活動に欠かせない基盤であり、脱炭素化に向けて重要な役割を担う公共交通の維持・確保や活性化、過度な自動車利用から公共交通への転換等、鉄道網や道路網など既存のストックを活かした、人と環境にやさしく、持続可能な交通体系の構築を図る必要がある。 ○堺都心部における便利・快適な移動環境の構築や拠点間ネットワークの構築を図るため、SMI プロジェクトに取り組む必要がある。SMI 都心ラインについては、深刻化するバス運転士不足に対応しつつ運行サービスの維持・向上に向け、「SMI 都心ライン及び関連取組に関する導入計画」を策定し、国補助を確保しながら着実に実証実験に取り組むことが必要である。 ○本市の環濠エリアを縦断し堺・大阪の両市を結ぶ重要な移動手段である阪堺線については、利用者の減少や運行コストの増大を受け厳しい経営状況にあり、阪堺線の持続的発展と沿線の活性化に向け、更なる利用者の利便性や安全性の向上、利用者拡大の取組が必要である。 ○堺都心部においては、広域的な交通の整備による位置付けの変化、南海高野線連続立体交差事業による道路交通の変化、「堺都心未来創造ビジョン」に基づく取組による環境変化が見込まれる。
取組の内容	○「SMI 都心ライン及び関連取組に関する導入計画」について、パブリックコメント等の結果を公表し、策定する。 ○SMI 都心ラインの導入に向け、国補助への応募を行って補助金を確保しつつ、自動運転や路車協調システム、走行空間、待合環境の改善、情報発信等、複数の実証実験を連携して取り組む。 ○阪堺線について、国との協調補助を中心とした施設の老朽化対策や高度化、おでかけ応援制度や堺おもてなしチケット等の取組を継続実施する。 ○万博期間限定のデジタルチケット「堺おもてなしチケット 2025」の発売や庁内関係部局との連携による市内への誘客及び市内周遊の促進に取り組む。 ○阪堺線停留場環境の向上等の更なる利便性や安全性の向上、利用者拡大の取組について検討を行う。 ○堺都心部における状況の変化を踏まえ、おおむね 20 年後を見据えた都心交通のあり方を検討する。
スケジュール	前期 (～9 月) ☐ SMI 都心ライン等に係る関係機関との協議・調整 (通年) ☐ SMI 都心ラインに関し、国補助事業への応募 (5 月) ☐ SMI 都心ライン及び関連取組に関する導入計画の策定 (6 月) ☐ 阪堺線に係る施設の老朽化対策及び高度化、利用促進 (通年) ☐ 堺おもてなしチケット 2025 の発売 (4 月～) ☐ 阪堺線利用者の更なる利便性・安全性の向上、利用者拡大の取組の検討 (通年) ☐ 都心交通に係る既存データの整理、今後の進め方等の検討 (通年)

(様式 4)

	後期 (～3月)	☐ SMI 都心ライン等に係る関係機関との協議・調整（通年） ☐ SMI 都心ライン実証実験（秋以降） ☐ 阪堺線に係る施設の老朽化対策及び高度化、利用促進（通年） ☐ 堺おもてなしチケット 2025 の発売（～10月） ☐ 阪堺線利用者の更なる利便性・安全性の向上、利用者拡大の取組の検討（通年） ☐ 都心交通に係る既存データの整理、今後の進め方等の検討（通年）	
	次年度 以降	☐ SMI 都心ライン実証実験 ☐ 阪堺線に係る施設の老朽化対策及び高度化、利用促進 ☐ 阪堺線利用者の利便性・安全性の向上、利用者拡大の取組の段階的实施、詳細検討 ☐ 都心交通のあり方の検討	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4－（3）人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立 5－（2）都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く） [現状値：43,835人／日（2019年度）]	目標値（2025年度） 45,000人/日（合計）
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	—	目標値（2025年度） —